キャラクター名
阿比留　鉄雄

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ ブラックドッグ	ワークス	UGNエージェントD	カヴァー	
オプショナル		年齢	52	性別	
覚醒	死	衝動	闘争	初期侵食率	38 %
出自	天涯孤独	経験	大恋愛	邂逅	保護者

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	4	0	0			4
感覚	2	0	0			2
精神	2	0	0			2
社会	0	1	0			1

HP	60
行動値	6
(非装備時)	6
戦闘移動	11
全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	7		射撃			ＲＣ	1		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	2		調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
	白兵	4r+7				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
アーマメントベルト		12			素手攻撃力+8
アーマースキン		4			シーン１回1ｄ軽減

合計装甲：	16	合計回避：	0

所持品	
特殊装甲義肢	
メモリー	
メモリー	
フォールンサラマンダー	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
秘密兵器	P	N		
長谷川世那	P　友情	N　不安		
シネマレイダー	P	N		
真由	P　遺志	N　悔悟		
けだま	P　信頼	N　悔悟		
シャドウカインド	P	N		
再生ジャーム	P	N		

最大財産P:　4	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
ハードワイヤード	7	*4	常時					
効果：アーマースキン　ダーマルプレート*6								
アタックプログラム	7		メジャー	武器		白兵射撃		
効果：命中+Lv*2								
磁力結界	5	2	オート	至近	自身			
効果：ガード値+LvD								
雷鳴の申し子	1							
効果：								
ショート	1							
効果：								
セキュリティカット	1							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

孤児であった阿比留は古くにあった地下格闘賭博所のファイターとして人生の大半を過ごす、元締めがFHに変わり化け物と呼ばれる者たちがリングの上で台頭してもなお、持ち前のタフネスと経験を活かして生き残ってきた。

そんなある時FHのマッドサイエンティストでエンジニアの女性、東雲博士と恋に落ちる。

実際に東雲博士は阿比留の事を人為的オーヴァードの最高傑作を作るための素体とししか見ていなかったが阿比留自身それは理解していた。

リングの上での死を機に東雲博士は当初の目論見道理、阿比留を最高傑作へと完成させる。

それからも変わらず東雲博士の最高傑作として、阿比留はリングの上での人生を謳歌していたが、ある時東雲博士から意外な思いを聞かされる。

「進む場所を間違えたわ。もっと人の役に立つ場所に進むべきだった」
その言葉に阿比留は心底驚愕した。倫理観も善悪もなく、自分の研究を、理論を優先させるわがまま娘。彼女はそういう人物であり、だからこそ阿比留は惚れ込んだのだ。しかし続く言葉によってその驚愕は安堵へと変わった。
「だってこんなに素晴らしい最高傑作ができたのに、こんな狭い地下のチャンピオンどまりよ？あなたを世界に見せびらかす事ができないじゃない。いっそのこと正義のヒーローに鞍替えするべきかしら。」
恐ろしく利己的な理由に阿比留は嬉しくなり笑みをこぼした。
その日の夜だった、UGNが阿比留の日常を打ち崩したのは。

ファイターと関係者の殆どは拘束、又は戦闘により死亡、個々の戦力がいかに優れていようと、戦術的な展開の前には為す術もない。
UGNにジャームと判断された連中は処分又は凍結、そう東雲博士に聞かされていた。
おそらく自身もそうなるだろうと考えていた。